

平成23年度当初予算 予算要求シート

整理番号 **14 - 010**

局・課名／ **子ども青少年局子ども家庭課**

(単位 千円)

事業名	発達障害者(児)支援事業				平成21年度決算額	平成22年度予算額	平成23年度要求額			
関連事業				事業費	0	11,458	25,111			
				事業期間	H ~ H	全体事業費				
事業目的	<p>今年度要求のポイント</p> <p>発達相談の実施により早期発見・早期支援を推進し、就学移行支援を行うことにより、学校での二次的な不適応を予防し、児童の健全育成をより一層推進する。また、不安を持ち、孤立しがちな養育者に対する子育て支援を行い、虐待予防を図る。</p> <p>就学支援を実施するにあたり、発達支援コーディネーターを1名増員する。また、4・5歳児発達相談及び養育者勉強会の実施回数の増、及び養育者の交流会や対象外児童の相談会を新たに実施することによる医師報酬や委託料などを増額要求する。</p>									
事業内容	<p>発達支援コーディネーターにより、発達障害児とその家族を支援するとともに、地域の機関等からの相談・助言をうけ支援体制のサポート強化を行う。発達相談における専門医師・心理士の従事、ペアレントトレーニングプログラムの作成及び実施、専門職研修、講演会等、一部を委託し以下の事業を実施。</p> <p>4・5歳児発達相談、養育者勉強会、研修（専門職向け、支援機関向け）、啓発（講演会等）</p>			主な要求内容 (単位：千円)						
				項目	22年度予算	23年度要求額	内容・積算等			
				報酬 非常勤医師、非常勤発達支援コーディネーター	3,552	12,505	医師@39,000×72回=2,808千円 コーディネーター（保健師1名）3,490千円（心理士2名）@6,207千円			
				費用弁償・旅費	464	1,018	非常勤通勤費497千円、研修等257千円、市内等264千円			
				発達障害児（者）支援事業委託料等	7,115	11,220	発達相談・養育者勉強会・研修等			
				負担金	22	32	学会・研修参加負担金			
				その他	305	336	消耗品費125千円、通信運搬費211千円			
				合計	11,458	25,111				
スケジュール（経過及び今後展開）						その他 特記事項				
<p>【経過（～22年度）】 H18～21年度「発達障害児支援研究事業」委託（5歳児発達相談・養育者勉強会を堺保健センター区域にてH20・21実施、専門職セミナー、講演会の開催）H22年度発達相談・養育者勉強会を全市に拡大し実施</p>		<p>【23年度】 拡充実施</p>		<p>【今後（～24年度）】 国庫事業を基本に、市民及び関係機関のニーズを踏まえ、事業の検討</p>						